

増えつづける日本の余剰プルトニウム—まず再処理、プルサーマルの中止を！

グリーンピース・ジャパン 2002/08/09

日本は核弾頭 7000 発分のプルトニウムを保有

プルトニウムは、核兵器の材料となることから、日本は、余剰プルトニウムを持たないことを国際公約としています。しかし、現在、日本は約 40 トンのプルトニウムを保有しています。これは核弾頭 7000 発にも相当する量です。日

日本のプルトニウム在庫量

保管場所	現在
英仏再処理工場	34 トン
日本国内	5 トン強
合計	約 40 トン

まず、プルトニウムの取り出しの中止を

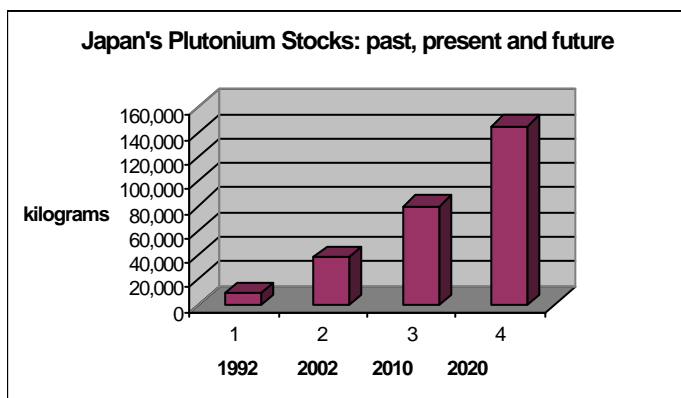
日本政府は余剰プルトニウムを持たないという国際公約を守るためにも、プルサーマルでプルトニウムを使用するという計画を推進しようとしています。しかし、余剰プルトニウムを減らすにはまず、原発から出る使用済み核燃料からのプルトニウムの取り出しを中止するべきです。

現在プルトニウムを通常原発で使用するというプルサーマル計画は、地元の反対などで頓挫しています。しかし、もし、政府の計画通りに進んだとしても、六ヶ所村再処理工場が予定通りに稼働すれば、プルトニウムはあまります。かえって、プルサーマルが始まることで再処理工場の運営が正当化され、余剰プルトニウムがプルサーマルを開始しない場合よりも増えるでしょう。

プルサーマル導入計画

1999 年	2000 年	2000 年代初頭	2010 年までに
2 基	4 基	9 基	16-18 基

実績はゼロ



グリーンピース・インターナショナルによる予測 (June 2002)

日本のプルトニウム在庫量 過去、現在 そして 未来

日本の余剰プルトニウムは 2010 年には約 70 トン、2020 年には約 110 トンにもなってしまう。

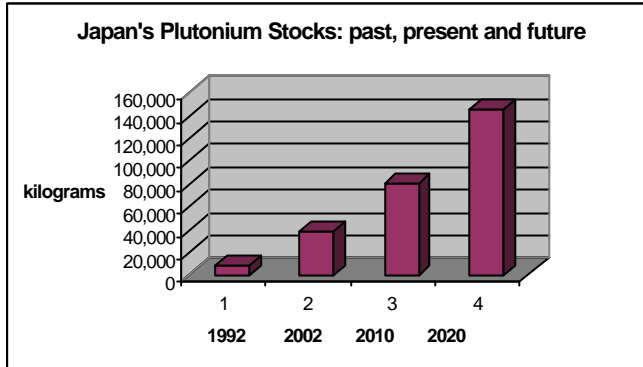
左プルトニウム在庫量予測の条件

* プルサーマルは、仮に 2010 年までに 10 基程度で実施、2020 年まで同規模が維持されるとした。5%のプルトニウム富化度のウラン・プルトニウム混合酸化物 (MOX) 燃料を炉心の 30%まで装荷したと想定。(フランスでは、20 基の原発で 5 トンのプルトニウムを使用。日本では将来炉心 50%まで使用する予定であり、しかも、フランスよりも長期間燃やす予定)

* 青森県六ヶ所村再処理工場は計画通り年間 800 トン (ウラン) 処理するとし、年 7-8 トンのプルトニウムが抽出されると予測。

2020 年までに 10,000 トンの使用済み核燃料を処理予定とし、100 トンのプルトニウムを抽出と予測。

2002年8月6日作成



日本のプルトニウム在庫量 過去、現在 そして 未来

作成：グリーンピース・インターナショナル June 2002

プルサーマル導入計画

1999年	2000年	2000年代初頭	2010年までに
2基	4基	9基	16-18基

プルサーマル本格導入実績

0

プルサーマルでのプルトニウム使用見込み (注)

	2010年	2020年
	10基(?)	10基(?)
プルトニウム在庫量予測	80トン	145トン
使用	9トン	34トン
余剰プルトニウム量予測	約70トン	110トン

日本のプルトニウム在庫量

保管場所	現在
英仏再処理工場	34トン
日本国内	5トン強

*青森県六ヶ所村再処理工場は年間800トン(ウラン)処理 年7-8トンのプルトニウム

2020年までに10,000トンの使用済み核燃料を処理予定 100トンのプルトニウム

(注)5%のプルトニウム富化度のウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)燃料を炉心の30%まで装荷したと想定。(フランスでは、20基の原発で5トンのプルトニウムを使用。日本では将来炉心50%まで使用する予定であり、しかも、フランスよりも長期間燃やす予定)

MOX 燃料の年間装荷量予測 2002-2010

